

情報公開文書

研究の名称	本邦における COVID-19 感染患者治療の疫学的調査
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	若杉 雅浩
研究の概要	<p>【研究対象者】 2020年1月1日～2025年3月31日に、日本国内で COVID-19 による感染を発症した患者</p> <p>【研究の目的・意義】 2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が報告されました。このウイルスは新型コロナウイルスとして、COVID-19 と称されています。COVID-19 による感染は世界的に流行し、WHO では2020年1月30日に緊急事態宣言を行い、3月11日にはパンデミックの宣言を行いました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、3月24日時点で感染者数は30万人、死亡者数は14000人を超え、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。一方、本邦では1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。現在(3月24日時点)、本邦での COVID-19 感染が確認された患者は1000人を超え、死亡者数は40人を超えています。</p> <p>この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後の COVID-19 感染症治療の確立には急務です。</p> <p>本研究は、本邦における COVID-19 感染症にかかる臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的としております。また、本研究は、全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自の疫学的評価を行うことを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 本研究は、広島大学病院救急集中治療科内の診療録や、全国の多施設から提供を受けた診療録からの情報を用いて、専ら集計や、簡単な統計処理を行う研究です。研究に用いるデータは、COVID-19 感染患者の年齢・性別・基礎疾患などの背景、COVID-19 治療に関するデータ等であり、個人を特定可能な情報は解析に用いられません。研究は同一施設内に限り情報は外部に提供しません。他施設から提供を受ける診療録のデータは、個人が特定される情報は削除し、匿名化された状態でメールなどインターネットを通じてデータとして提供されます。</p> <p>【研究期間】 承認日～2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究結果は国内外の論文、学会で発表する予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	上記の対象期間中に記録された診療情報(症状、基礎疾患、渡航歴、接触歴、症状の経過等)・ウイルス検査結果などを、研究に使用させていただきます。広島大学へあなたの取得した情報を匿名化して送り、解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います

研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗 富山大学大学院医学薬学研究部 危機管理医学・医療安全学 准教授 若杉雅浩
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7780 FAX 076-434-5110 E-mail mwaka@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 救急科 若杉雅浩